



## ◆定時総会のご報告◆

新学期あるいは、新しい事業年度も始まり、何かとご多忙のことと存じます。会員の皆様はお元気でご活躍のことと拝察申し上げます。

さて、当学会も新しい年度に切り替わりましたが、去る2月17日開催された理事・評議員会の議決を経て、引き続き開催された定時総会において2007年度の事業・会計報告と2008年度事業計画と予算などについて本部より報告と説明がなされ、審議の結果、承認されましたので、下記にご報告いたします。定時総会閉会后に前会長の井上勝也先生の記念講演が実施されましたので、併せてご報告申し上げます。

### <2008（平成20）年度定時総会>

日 時：2008年2月17日（日）13：00～14：00

場 所：明治学院大学白金キャンパス

### 報告と議題

1. 2007年度の事業報告および会計報告と2008年度事業計画案および予算案について事務局および会計から下記説明がなされ、審議後承認されました。

#### ①2007年度事業報告および会計報告について

2007年度には常任理事会5回、理事・評議員会3回、総会2回が開催された。第10回全国大会は9月1～2日に岩手県立大学にて開催された。また、理事選挙が行われ、佐藤会長が再選されたほか、選挙理事・指名理事各20名の計40名の理事と、30名の評議員が決定した。選挙に先立ち、名簿を新規に作成しました。

また、事務局が前事務局長の転勤により辞任したため、事務局の移転が行われました。

事業としては、学会誌・ACS・講座が例年通りの活動を行ったほか、ニュースレターの後継として「学会からのお知らせ」を発刊しました。

#### ②2008年度事業計画および予算案について

\*編集委員会については新たに大川副会長が副委員長を兼務し、一層の充実をはかります。

\*ACSについては、本部と支部の連携強化をはかり、支部事例を年2回組入れます。

\*講座については、老年行動科学講座を継続実施します。サマーセミナーは、内容、期日などを検討することとなりました。

\*広報事業として、学会ホームページの充実と活用並びに案内リーフレットの改定を進めます。

\* IT事業として、2007年度より準備を進めていたメール配信サービスを行うほか、ホームページの充実強化を進めます。

\* 研究・出版事業として2007年度より編纂を行っていた、観察に関するDVDと既刊「こころ事典」の発展版の「こころ・からだ事典」を2009年の発刊に向けて企画・編纂。

\* 予算案では、大会貸出金を大会支援金として計上することにしたほか、京都大会では今年、公的介護保険が実施される韓国からシンポジストを招聘するにあたって国際交流費を増額した点などについて説明が行われました。

## 2. 支部規定の策定と会則改正

2008年度より岩手支部が設立されるにあたり、新たに支部規定を制定することとし、それに平行して会則の支部関連条項等を改正し、承認されました。

これにより、本部・支部間の支援・協力体制が明確となりました。

## 3. その他(支部と大会)

事務局より各支部の2007年度活動報告と2008年度活動計画についての報告、岩手支部設立準備委員長の石川みち子理事より支部設立に関する報告、また、京都大会事務局より本年9月13日～14日に開催される第11回全国大会(京都・立命館大学)の案内がありました。



## ◆定時総会の記念講演寸描◆

総会の後は本学会の前会長であり、駿河台大学教授の井上勝也先生による記念講演が行われました。「認知症の心理学」と題した講演では、認知症で問題となるのが「退行症状」と「アイデンティティの喪失」であり、「退行症状」はよく言われる「子供に還る」こととは違うことなどについて、井上先生の名調子で語られました。約1時間の講演の後、佐藤会長の司会のもと、本田副会長・荒木常任理事・尾崎常任理事の3名が井上先生に質問を投げかけました。現場での対処や新たな研究について会場からも質問や意見が相次ぎ、有意義な会員交流の場となりました。



## 【第11回全国大会 速報】

●期 日： 9月13日（土）・14日（日）

●会 場： 立命館大学

●大会長：立命館大学文学部

教授 吉田 甫 先生

●メインテーマ：「高齢になってもまだまだ発達する：地域との連携の中で」

第11回は古都・京都の開催です。

古来より都として文化が集まり発信していた京都は、昔と今の交錯する魅力的な街です。夏の暑さも一息ついた頃、古都でよく学び、よく遊んでみてはいかがでしょうか。

※ 第1号通信に続いて、近々、京都から会員の皆様に大会のご案内（第2号通信）が発送されます。



## 【岩手支部が創設されました】

昨年の9月に全国大会を盛岡で開催した岩手県立大学看護学部の石川みち子教授を中心とした研究者グループと県下の有力高齢者施設や事業所のリーダーたちが推進役となって2月23日に設立総会が開催され、学会にとって第8番目の支部が誕生いたしました。

総会には、学会から大川一郎副会長が参列し、記念講演をいたしました。現在、会員も20名を超えて、まさに「ケアと研究の出会いの場」を地で行く支部としてスタートいたしました。

<岩手支部>

- 岩手支部事務局：岩手県立大学看護学部内
- 支部長： 照井 孫久（学会 評議員）
- 支部理事：石川みち子（岩手県立大学）
- 支部局長：千田 睦美（岩手県立大学）
- 連絡先：岩手県立大学看護学部

TEL：019-694-2214 FAX：019-694-2215（木内、渡辺、小嶋）

E-mail：jsbse@ml.iwate-pu.ac.jp

（敬称省略）

